

アスジャ・ASCOJA 共催シンポジウム 大西洋平外務大臣政務官御挨拶

ただいま御紹介を賜りました外務大臣政務官の大西洋平です。25回目となるアスジャ・ASCOJA シンポジウムの開催という喜ばしい機会に、日本政府を代表し、御挨拶申し上げます。

はじめに、シンポジウムの開催に向けて御尽力された、シェン・ユエ会長率いるシンガポール留日大学卒業生協会を始め、アスジャ・インターナショナル及びASCOJA 関係者の皆様に心からの敬意を表します。日本とシンガポールの外交関係樹立から60周年を迎える本年に、シンポジウムがこのような盛大に開催されますことを、大変喜ばしいことと受け止めております。

ASCOJA は、1974年に当時大蔵大臣であった福田赳夫元総理の呼びかけで始まった、外務省招聘事業「東南アジア元日本留学者の集い」で交流を深めた各参加者たちが中心となり、1977年6月に設立された組織と伺っております。福田元総理は、本日御臨席の福田達夫先生の御祖父様でもいらっしゃいます。ASCOJA は日本側カウンターパートであるアスジャとも協力しながら、その結成以来、約半世紀にわたり、日本とASEANの関係の促進に取り組んでこられました。これまでのASCOJA・アスジャの御貢献に改めて心より感謝申し上げます。

世界が大きな構造的変化の中にある中、インド太平洋地域の「要」に位置する ASEAN の役割は、ますます重要になっています。このように重要性を増す ASEAN において、5 万人以上にのぼる ASCOJA の皆様が、それぞれの出身国で日本への留学促進や、日本の文化発信などの帰国留学生会の活動を展開してくださっていることを大変心強く感じております。今後も、日本と ASEAN の「心と心の触れあう」相互信頼関係のさらなる強化に向けて、皆様からの御協力を賜れば幸いです。

本日のシンポジウムで、日本をよく知る皆様同士で議論が尽くされ、今後の日・ASEAN 人的交流のさらなる飛躍につながることを祈念しております。

結びに、日本との留学交流をライフワークとし、情熱を持って取り組まれている皆様に、改めて心からの敬意を表するとともに、ASCOJA が大切にする「心と心」の精神が、皆様の後輩の方々にも受け継がれていくことを期待して、私からの御挨拶といたします。

御静聴ありがとうございました。

(了)